

平成30年度看護研究発表状況

No	所属	研究の題名	研究者	発表予定学会	発表形態	発表日
1	4B	エシジバラ産後うつ質問票（EPDS）を導入した助産師外来における産後検診の実態報告	前田一枝	第27回京都府母性衛生学会	口演	H30.7.7
2	3B	ICUに入室された独居で意思決定困難な患者への治療および看護ケアに対する倫理的課題の検討～多職種倫理カンファレンスを通じ～	早川和美	第57回全国自治体病院学会	示説	H30.10.18
3	ER	院内救急看護専門研修のあり方～アンケート調査から見えた現状と課題～	寺崎昌美	第57回全国自治体病院学会	示説	H30.10.19
4	7D	誤嚥性肺炎の退院支援を見据えた多職種連携とクリニカルパス作成	建家一美, 中島麻衣	第57回全国自治体病院学会	示説	H30.10.19
5	5B	A病棟における血液がん患者の初回化学療法後の倦怠感の実態	山本祐子	第57回全国自治体病院学会	示説	H30.10.19
6	5B	難治性疼痛を有する終末期がん患者における症状緩和から自宅退院を可能にした一事例	林裕子	第57回全国自治体病院学会	示説	H30.10.19
7	ER	院内急変対応推進チームの取り組み 院内緊急コールから見えてきた質の高い心臓蘇生と課題	寺崎昌美	第13回医療の質・安全学術集会	示説	H30.11.24
8	3C	「もう1度だけ家に帰りたい」患者の希望を多職種で支えたに1事例	吉田克江	第42回日本死の臨床研究会年次大会	示説	H30.12.9
9	看護部	一般病棟における「アズ・イフ（あたかも）」を用いたデスクカンファレンスの試み	松村優子	第42回日本死の臨床研究会年次大会	示説	H30.12.9
10	6C	人工肛門増設術後患者の在宅での日常生活における困難感	高山彩葉, 松崎菜美	第21回京都府看護協会学会	口演	H31.1.27
11	7C	頭頸部化学放射線療法を受けた患者（手術は除く）の口腔乾燥に対する口腔体操の試み	阪本佳穂	第21回京都府看護協会学会	口演	H31.1.27
12	ER	頭頸部化学放射線療法を受ける患者に対する病棟看護師を中心とした多職種連携～患者・家族参加多職種カンファレンスの効果の評価～	松岡かおる, 斎藤麗子	第33回日本がん看護学会学術集会	示説	H31.2.23 H31.2.24
13	ICU	長期在宅ケアを受ける重度の脳性麻痺を有する患児の治療および看護ケアに対するICU看護師のシレンマ～急性期病院における医療および看護ケアと在宅との連携から見えてきたこと～	早川知美	日本臨床倫理学会第7回年次大会	口演	H31.3.31
14	看護部	臨床倫理コンサルテーションチーム立ち上げから見えた組織が抱える倫理的課題の現状	松村優子	日本臨床倫理学会第7回年次大会	示説	H31.3.31

H30年度執筆投稿

NO	依頼年月日	職員名	配属	依頼元	掲載刊行物	論文題名・原稿内容
1	H30.4.3	山内 光子	外来 糖尿病看護認定看護師	一般社団法人Act Against Amputation	糖尿病患者さんと医療スタッフのための情報サイト「糖尿病ネットワーク」	「つなごう足への思い」日本の足を支える医療者たちによるリレーコラム
2	H30.4.10	半場 江利子 岩崎 百合子	看護部 部長 看護部 副部長	公益財団法人日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会	高齢者のリスクマネジメント	せん妄/認知症研修会の実施 せん妄と認知症を正しく理解して対応するために
3	H30.8.30	寺崎 昌美	救急室 救急看護認定看護師	公益社団法人京都府看護協会	看護きょうとvol.163号掲載記事	西日本豪雨災害支援にJMATと共に参加して災害支援ナース活動報告書の要約
4	H30.9.6	松村 優子	看護部 がん看護専門看護師	出版 照林社	雑誌エキスパートナース 2019年1月特集号	どうするといひ?がん終末期ケア 症状緩和ケア&終末期・看取り期のエビデンス
5	H30.10.24	村上 あおい	看護部 感染管理認定看護師	「日本転倒予防学会誌」 編集委員長 上岡洋晴氏	日本転倒予防学会誌	「日本転倒予防学会誌」(テーマ:高齢者の転倒防止～感染兆候を見逃さない～)
6	H30.11.7	田中 好美	小児病棟棟長	医療経営情報研究所	雑誌「看護のチカラ」	京都市立病院の退院支援リンクナースの役割と活動